

「児童参加の植樹活動」 (三嶺の森をまもるみんなの会主催)

日 時： 令和3年10月31日(日) 8:30~16:00

場 所： 高知県香美市(みやびの丘付近)

内容

物部川源流(別府峡上流部)の山・森の一つ「みやびの丘」は、シカ食害によってササが衰退し、シカが好むウラジロモミ、リョウブ等の樹木が枯死・一部倒木しました。

今回のボランティア活動は、香美市エコクラブの児童を対象として、春の活動に続き成長状況の調査や植樹活動などの環境教育を行いました。

この活動は、シカ食害の状況と二次被害である対岸の山々の崩れを知るとともに、これまでの再生活動の成果と意義を認識してもらうことを目的としています。

参加者は、原風景との違いや防鹿柵の内外の違いを観察することによって、自然を守る活動の意義・大切さに気づくとともに、森・川・海つながりにおいて、源流域を守ることが、下流域の環境保全につながることを認識していました。

〈作業内容〉

- シカ食害観察(駐車場~山頂)
- GPS装着熊の探索、熊の生態説明
- ブナ・ツツジの植樹

〈当日の様子〉



防鹿柵内外の違いを観察する参加者



植樹を行う参加者